学校番号	３１８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「世界史探究 詳説世界史」（山川出版社）						
副教材等	「グローバルワイド 最新世界史図表」（第一学習社） 「授業用　詳説世界史　整理ノート」（山川出版社） 「山川 一問一答世界史」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究では、歴史総合の内容を受けて、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解を深め、事象の意味や意義、特色などを考察し、世界の課題をその展望を探究する力をつけていきましょう。
・授業を大切にしましょう。板書を写すだけではなく、話した内容で重要な内容をメモする習慣をつけましょう。
・重要事項は知識として定着させましょう。そのためにも演習問題を活用しましょう。
・単純な暗記ではなく、意味ある「つながり」として事象をとらえられるよう、地図・図表・年表などを活用しながら学習を進めることが重要です。
・世界史関連のテレビ番組の視聴、映画、博物館・美術館の見学なども理解を深めるのに役立ちます。

2　学習の到達目標

① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○世界の歴史について、大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 ○諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察することができる。 ○考察、構想したことを説明し、それらを基に議論したりすることができる。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、関心と課題意識をもち、意欲的に追求しようとしている。 ○国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期前半	東アジア世界の展開とモンゴル帝国／大交易・大交流の時代／アジアの諸帝国の繁栄	第8章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国 第9章　大交易・大交流の時代 1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 第 10 章　アジアの諸帝国の繁栄 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域	a：中華世界の変容とモンゴル帝国の拡大など、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを理解している。 a：諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 a：西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を理解している。 b：社会の展開と成熟について、学びを深めている。 b：ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国および清の相違点と共通点や、ヨーロッパ諸国における国民意識の高まりと覇権競争が、どのような結果をもたらしたのかについて多面的・多角的 に考察し、表現している。 c：中華世界の変容とモンゴル帝国、大交易時代のアジア社会、ユーラシア諸帝国の繁栄についての学びを深めている。	小テスト 授業プリント 「整理と演習」 定期考査	授業プリント 定期考査 「整理と演習」 振り返りシート	授業観察 授業プリント 「整理と演習」 振り返りシート
1学期後半	近世ヨーロッパ世界の動向／産業革命と環大西洋革命	第 11 章　近世ヨーロッパ世界の動向 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想 第 12 章　産業革命と環大西洋革命 1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立	a：諸資料から近世ヨーロッパの社会と文化について読み取り、理解している。 a：産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開を構造的に理解している。 b：宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパ社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。 b：「世界の工場」とよばれたイギリスの急速な工業化が、世界の結びつき方をどのようにかえたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:主権国家体制や欧米での近代社会の形成についての学びを深めている。	小テスト 授業プリント 「整理と演習」 定期考査	授業プリント 定期考査 課題提出 「整理と演習」 振り返りシート	授業観察 授業プリント 課題提出 「整理と演習」 振り返りシート

2学期前半	イギリスの優位と欧米国民国家の形成/アジア諸地域の動揺/帝国主義とアジアの民族運動	第13章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 第14章　アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 第15章　帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	a：19世紀のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 a：第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革など、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを理解している。 b：列強の対外進出とアジアの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連や、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主 義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的･多角的に考察し、表現している。 c：世界市場の形成と「アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行」の内容に対して、学びを深めている。	小テスト 授業プリント 「整理と演習」 定期考査	授業プリント 定期考査 課題提出 「整理と演習」 振り返りシート	授業観察 授業プリント 課題提出 「整理と演習」 振り返りシート

2学期後半	第一次世界大戦と世界の変容/第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成/冷戦と第三世界の台頭	第16章　第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア･アフリカ地域の民族運動 第17章　第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成 第18章　冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	a: 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 a: 国際協調体制の動揺や第二次世界大戦の展開について、諸資料から読み取り、理解している。 a: 集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、先進国の経済成長と南北問題、原子力の利用などを基に、紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。 b: 第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズ ムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。 b: 第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 第一次世界大戦の展開と諸地域 の変容、第二次世界大戦と戦後の東アジアについての学びを深めている。 c: 国際協調体制の動揺や、第二次世界大戦と戦後秩序構想についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	小テスト 授業プリント 「整理と演習」 定期考査	授業プリント 定期考査 討論・発表 「整理と演習」 振り返りシート	授業観察 授業プリント 討論・発表 「整理と演習」 振り返りシート
3学期	冷戦の終結と今日の世界	第19章　冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	a: 冷戦の変容･終結と地域紛争の頻発、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化、原子力の利用などを基に、紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。 b: 国際機構の形成と紛争、国際競争の展開と経済格差、科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、考察、表現できる。 c: 冷戦の変容･終結と経済のグローバル化について、学びを深めている。	小テスト 授業プリント 「整理と演習」 定期考査	授業プリント 定期考査 討論・発表 「整理と演習」 振り返りシート	授業観察 授業プリント 討論・発表 「整理と演習」 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度